

大豆技術情報 第2号

平成29年6月
富山農林振興センター
富山市農業協同組合

単収200kg/10a以上、大粒比率向上に向けて

- 「確実な培土」と「溝の連結」で、初期生育の確保を！
- 培土後、発生している雑草の種類を確認し、除草剤を適切に使用しましょう。

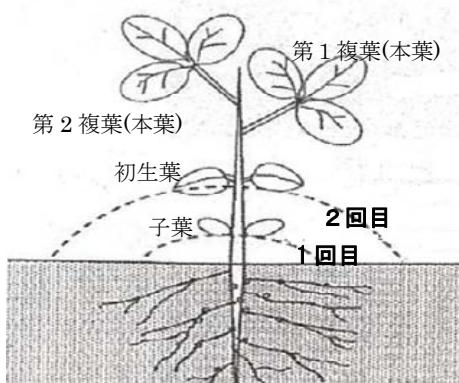
培 土

1回目培土時の大豆（本葉2葉期）

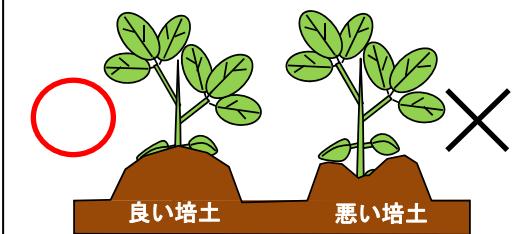
1回目は遅れずに、2回目は晴れ間を逃さず確実に実施しましょう。

表1 培土の時期と高さ（右図参照）

	時期	高さ
1回目	本葉2～3葉期 (播種後20～25日頃)	子葉が埋まる程度
2回目	本葉4～5葉期 (播種後30～35日頃)	初生葉が埋まる程度



株元までしっかり土をかける！



【培土作業のポイント】

- ◆作業の前に培土板の調節や耕うん爪を点検し、すり減った爪は交換しましょう。
- ◆乾いたほ場から作業を行い、株元までしっかり土を寄せましょう。
- ◆培土でできた溝は額縁排水溝や排水口にしっかりと連結し、排水が速やかに行えるようにしましょう。



排水対策も
しっかりと！

雑 草 防 除

雑草の種類を確認し、雑草に薬剤がしっかりかかるように散布しましょう。※周辺の作物に飛散しない様注意！

表2 草種別除草剤

対象雑草名	薬剤名	使用時期	使用方法	10a当たり散布量	使用回数
1年生 イネ科雑草 (スズメノカタビラを除く)	ポルト フロアブル	イネ科雑草3～10葉期 (収穫30日前まで)	雑草茎葉 散布	薬量200～300ml (水100lで希釈)	1回
1年生 広葉雑草 (イネ科を除く)	大豆バサグラン 液剤	大豆2葉期～開花前 (雑草6葉期・ 収穫45日前まで)	雑草茎葉 散布	薬量100～150ml (水100lで希釈)	1回
		大豆の生育期 (雑草6葉期・ 収穫45日前まで)	畦間雑草 茎葉散布	薬量300～500ml (水100lで希釈)	

難防除雑草（帰化雑草等）の防除について

前年、ほ場周辺（畦畔、農道等）で難防除雑草（帰化雑草等）の発生がみられた地域では、難防除帰化雑草の早期発見に努め、発見したら直ちに防除（手取り、除草剤散布）しましょう。

ほ場内で発生がみられた場合、雑草の種類に応じて効果の高い除草剤を選定し、結実前に防除を徹底しましょう。

草種	茎葉処理剤				茎葉兼土壤処理剤	
	選択性	非選択性				
	大豆 バサグラン液剤	バスタ 液剤	ザクサ 液剤	ラウンドアップ マックスロード		
帰化アサガオ類	▲(種間差あり)	○	○	▲	▲(種間差あり)	
ヒユ類	▲(種間差あり)	○	○	○	○	
イヌホオズキ類等	▲(種間差あり)	○	○	○	○	



写真 幼植物体

上段：マルバールコウ

下段左：イヌビュ

下段右：イヌホオズキ

注1)○:効果が高い、▲:効果が劣る

注2)登録内容(適用、使用方法等)を確認して使用する。また、非選択性茎葉処理除草剤は、周りの作物にかかるないように散布する。